

小木とも旗祭り

石川県無形民俗文化財



大漁を願って。



「MYとも旗」



2 日目は快晴。
空の青がまぶしい。

祭りはこれから本番。笑顔があふれる。



小木とも旗祭りは、5月2日と3日の両日行われました。

2日早朝には、小木港の岸壁で「とも旗起こし」をする風景が見られました。高さ20メートルを超える旗を伝馬船に立てます。旗を立てた町内から順に、巡航がはじまりました。

午後には、小木中学校と柳田中学校の3年生の交流事業が行われました。3町内の伝馬船に42人の生徒が分乗、港内をゆっくりと回りました。小木中の生徒は、自慢の旗の前に誇らしそうな表情を見せていました。

3日午後、町内9つの旗が全てつながり、神輿をのせた御座船に曳かれて港内を巡航。クライマックスを迎えました。





所在地：宇出津タ-46-1 ☎ 62-1503
 開館時間：9:15 ～ 17:30
 休館日：月曜日、第3日曜日
 梶川のほとりに立つ、まちなかの児童館です。

こども
 みらいセンター

子育て支援もお任せ
 みんなの児童館

「ノーム」の愛称で親しまれているこどもみらいセンターは、旧「こぼと保育所」を改修して生まれ変わりました。小さな赤ちゃんから、小中高校生、子育て中のお母さんたちなど、一日30～40人、休日が多いときで100人が利用しています。

こどもみらいセンターは、地域に育つ子どもたちのために、3つの事業（児童館事業・学童保育事業・子育て支援事業）を行っている施設です。児童館事業は、クッキングや遠足、プレゼント作りなど、毎月季節にちなんだ催しを行っています。子どもたちは、いろいろな遊びを通して、いろいろな経験ができます。児童館には、幼児から大人まで誰でも遊びに来ることができます。

最近はどうな活動があったのでしょうか？



こどもみらいセンター

まっなみキッズセンター



所在地：松波 13-50-2 ☎ 72-0269
 開館時間：10:00 ～ 18:00
 休館日：日曜日、月曜日
 松波中央公園に隣接。思いっきり体を動かせます。

まっなみ
 キッズセンター

子どもたちがもっと
 自由に遊べるように

まっなみキッズセンターは、役場内浦庁舎のとなり、松波小学校から約200mの場所にあります。建物はおかつての町立松波幼稚園。閉園するとき、「子どもの遊びの場所としてぜひ残してほしい」という保護者らの要望があり、現在に至ります。子どもたちの遊びの拠点として重要な位置を占めています。

「一度来たことがある子は、遊びに来やすいよね」と話すのは、センター長の桑村和代さん。田中佐智子さんと一緒に子どもたちを見守ります。

2人の職員だけではなく、多くの人が子どもたちを支えます。児童館には、「読み聞かせボランティアひまわり」の皆さんをはじめ、多くの人が関わっています。

皆さんの活躍を見てみましょう。



遊びのプロ集まれ！子どもが主役の楽しい施設

児童館に行こう！

子どもは遊びの天才。その「遊びたい気持ち」を応援する施設が児童館です。こどもみらいセンターとまっなみキッズセンターでは、さまざまな遊びを準備しています。大人もトクする児童館のいまを紹介します。





東北の友達にゲンキを！
「とんねるこのぼり」

「とんねるこのぼり」は4月20日から5月18日まで設置された、段ボール製の遊べるこいのぼりです。全国の児童館で行われた「こいのぼりがいっぱいプロジェクト」の一環です。東日本大震災で被災した子どもたちに元気を贈るため、みんなで大きなこいのぼりのトンネルをつくりました。こいのぼりに一枚一枚貼り付けられたウロコには「元気に過ごしてほしい」「笑顔を忘れずに」など東北の子どもたちに宛てたメッセージが描かれました。

パパママの心強いミカタ
子育て支援事業

子育て支援事業は、未就園児の親子を対象に、子育てのサポートを行います。親子で一緒に遊ぶ「ふれあいタイム」やお母さんが対象の「子育て教室」などがあります。中でも好評の「子育て教室」は、お母さん同士の意見交流の場

にもなっています。このうち「ママカフェ」は、お母さんたちにリフレッシュしてもらおうと、カフェに行く感覚で気軽に参加できます。子どもを館内に預けたお母さんたちは、お茶を飲みながら日頃の子育ての悩みごとや毎日の生活のことを話すなど、仲良くなったりリフレッシュできます。回数を増やしてほしいとの要望もあります。

元気に遊ぶ子どもたちの様子を見守るのは、北畠直子さん、川原准子さん、平美由記さん、谷内由紀子さんです。4人はノームの利用者だった人や現在小さいお子さんを持つお母さんとしてまさに子育て中の人など、育児の経験が豊富な皆さんです。

北畠さんは、「利用者の声を聞きながら地域も交えて、これからも楽しい行事を考えていきたい」と話しています。

※ノーム ヨーロッパで親しまれている森の妖精。空気や土、水、生物をよく知り、動物たちと遊びながら暮らす。センターのマスコットです。



子どもたちが入ってくると「おかえり」と呼び掛けて温かく迎え入れる児童館は、誰が施設を利用しているか常に把握するなど、利用者の安全安心にも細心の注意を払っています。

こどもみらいセンターの4人の職員は、自分たちが子育て中にやってみたかったことや、これからやりたいことなどを、お母さんの立場でも考えながら、施設の充実を図っています。

まつなみキッズセンターの職員は、「児童館では自由に遊んでほしい」と考え、子どもの自主的な遊びを見守っています。学校でまじめに課外活動や授業に臨んでいる姿を知っているからです。

児童館は、子どもが誕生する前から親と関わり、いろいろな遊びや経験を通して、社会生活を広げるお手伝いをしています。親と子の心を豊かにするこの取り組みを地域全体で応援する、このことが町の未来を支える人材を育てていくに違いありません。



硬筆学習「ペン上手」と読み聞かせ「ひまわり」

まつなみキッズセンターでは毎月2回「ペン上手」と題して硬筆学習を行っています。

5月10日、この日も児童は鉛筆で大きく力強い字を書いていました。指導するのは松波出身で金沢市在住の^{かみでんさか}上出久尊さんです。県書道教育研究会の師範である上出さんは、平成20年7月からまつなみキッズセンターで硬筆を教えています。「子どもたちが将来やりたいことのひとつのきっかけとなってくれば」と話しました。

この日は、近くの商店ギャラリーに展示する作品を描きました。はじめにいつもの練習紙に書いて、そのあと好きな色の色紙に清書します。みんなは「とめ」「はね」に気をつけながら手本を見て紙いっぱい書いていました。

読み聞かせボランティア「ひまわり」の皆さんは、月に2回、キッズセンターで絵

本の読み聞かせを行っています。スポーツや課外活動で忙しい子どもたちに配慮して、活動日を平日と土曜日の月2回設けています。

5月18日の土曜日には、10人以上集まった児童らに2冊の絵本を読み聞かせ。「知らないちっちゃいかえる」を読んでいるときは、子どもたちも合わせて鳴き声をまねるなど、楽しそうな雰囲気があふれていました。小学校でも読み聞かせをしている「ひまわり」のメンバーは、子どもたちにもおなじみで、すっかりリラックスしていました。

あなたに忍び寄る赤信号 能登町はメタボリックシンドローム 該当・予備群が県内ワースト！

(平成 23 年度能登町国保特定健診結果より)

メタボリックシンドロームとは・・・ 命にかかわる生活習慣病の一步手前

おなかの内臓の周りに過剰に脂肪がたまることで、血管の傷み（動脈硬化）が急速に進行する状態をいいます。この状態を放置すると、心臓病や脳卒中など命にかかわる生活習慣病を引き起こします。食べ過ぎや運動不足、喫煙などの悪い生活習慣の改善によって予防・解消が可能です。

食べ過ぎ、運動不足、喫煙、
飲み過ぎなどの悪い生活習慣

● 放置すると

メタボリックシンドローム

● さらに放置すると

命にかかわる生活習慣病に

能登町の死亡第1位 (H22)

〈心臓病〉

- ・狭心症
- ・心筋梗塞

〈脳卒中〉

- ・脳出血
- ・脳梗塞
- ・くも膜下出血

〈その他の動脈硬化性疾患・大動脈瘤など〉

特定健康診査は 6 月 14 日から

対象者には、6 月上旬ごろまでに受診券が届きます。健診には、受診券・保険証・健診費用が必要です。

まずは自分の体の状態を知りましょう。

年に 1 回は健康診査を。

がん検診を受診しよう

私たちのおよそ 2 人に 1 人ががんにかかり、3 人に 1 人が、がんで命を落としています。

がんによる死亡を防ぐためには、がんにかからないようにすることが大切です。がんの遺伝は 5%程度と少なく、むしろ喫煙、食生活および運動等の生活習慣が原因である人が多いのです！生活習慣の改善を心がけることでリスクを少なくできます。

しかし、がん発症リスクをゼロにすることはできません。そこで重要となるのが「がん検診」です。現在、がんにかかってても約 50%の人が“ 治る ”ようになり、特に初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで、高い確率で治癒します。

そうしたがんを“ 初期 ”の段階で見つけるのが「がん検診」です。

がん検診の対象は能登町にお住まいの 40 歳以上（子宮頸がんは 20 歳以上）となっています。

胃がん・大腸がん・肺がん検診は特定健診とあわせて、6 月 14 日から始まります。子宮がん・乳がん検診は医療機関での検診が 9 月から、集団検診が 10 月から始まります。詳しい日程は広報と同時配布されるチラシをご覧ください。

大腸がん健診推進協力店で 検診容器を配布しています

町では 40 歳以上の方には年に 1 回のがん検診を推奨しています。

町で実施している大腸がん検診は下記の場所で容器を受け取り、自宅で 2 日分の便を採り、提出するだけの簡単な検査です。ぜひ年に 1 度の検診を受けてください。

〈検診費用〉 300 円

〈提出期間〉 ① 6 月 14 日～7 月 31 日

② 10 月 1 日～11 月 30 日

〈提出場所〉各集団検診会場、健康福祉課、能都・柳田サービス室

＊能都サービス室のみ土日祝（8:30 ～ 17:00）も受付します。

大腸がん検診推進協力店

	店名	住所
1	マキ薬店	鶴川
2	河合薬局	鶴川
3	林精肉店	宇出津新
4	(株)千間啓文社本店	宇出津
5	(株)千間啓文社栄町店	宇出津
5	船田花月堂	宇出津新
6	小西薬局	宇出津新
7	ぬのうら百貨店ライフサービス	宇出津新
8	かくだストア	宇出津新
9	久田スポーツ	宇出津新
10	かみこ鮮魚店	宇出津新
11	ミセスヒロマル	宇出津新
12	つるの呉服店	宇出津
13	貸衣装はしもと	宇出津
14	電化ショップすぎき	宇出津
16	新出商店	越坂
17	堀井電器店	小木
18	(有)石岡酒販店	小木
19	石崎商会	小木
20	稲田鮮魚店	小木
21	(有)岩崎商事	小木
22	(有)うわみ花月堂	小木
23	奥成薬品	小木
24	(有)カネイシ	小木
25	北野呉服店	小木
26	(有)くろかわ	小木
27	坂本商店	小木
28	(有)新村商会	小木
29	(有)スーパーしんや	小木
30	杉本酒店	小木
31	滝鮮魚店	小木
32	田中写真館	小木
33	ドラッグホシバ	小木
34	灰谷鮮魚店	小木
35	ばらずし小木店	小木
36	(有)広瀬石油店	小木
37	福寿司	小木
38	山城プロパン店	小木

	店名	住所
39	横山鮮魚店	小木
40	芳野商店	小木
41	和嶋屋呉服店	小木
42	(有)石岡石油店	市之瀬
43	桑名食品店	市之瀬
44	(有)朝倉呉服店	松波
45	カラオケキャビン・エーワン	松波
46	河元酒店	松波
47	金山堂薬舗	松波
48	(株)サンライフ	松波
49	(有)千司	松波
50	ぎんざスーパー	松波
51	プロフォト中村	松波
52	林精肉店	松波
53	ばらずし松波店	松波
54	フードショップたなだ	松波
55	松波酒造(株)	松波
56	宮下菓子舗	松波
57	メイツつちかわ	松波
58	ヤマト屋薬舗	松波
59	とみた屋書店	松波
60	フードショップ浜崎	新保
61	柳瀬商店	天坂
62	野口商店	寺分
63	はなやストア	柳田
64	辻口金物建材店	柳田
65	グリーンハウス	柳田
66	面屋ストア	柳田
67	新谷商店	柳田
68	(有)本間百貨店	柳田
69	向口商店	柳田
70	岩崎商店	柳田
71	二橋商店	黒川
72	五田商店	当目
73	番 商 店	大箱

上記の協力店ほか、役場の各庁舎・支所・出張所、公民館（宇出津・神野・三波・瑞穂・上町・秋吉・白丸・不動寺・小間生）、やませみ荘でも配布しています。